

# 行動災害

# の予防対策、 取り組んでいますか？

鹿児島県内の労働災害（休業4日以上）による死傷者数は、第三次産業を中心に増加傾向にあります。なかでも「転倒」や、腰痛などの「動作の反動・無理な動作」による労働災害の増加が顕著で、全体の約4割を占めています。

そこで、働く人の作業行動に起因する労働災害である「行動災害」を予防するためのセミナーを初めて開催します！この機会にぜひご参加いただき、事業場内での取り組みにお役立てください。

年齢別労働災害発生状況（人）				
	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
令和5年	261	405	550	728
令和4年	266	389	479	720
令和3年	350	413	503	702
令和2年	285	416	506	649
令和元年	312	351	471	623

事故の型別の労働災害発生状況（人）		
	転倒	動作の反動・無理な動作
令和5年	555	357
令和4年	489	347
令和3年	514	348
令和2年	497	284
令和元年	442	276

60歳以上の労働災害が年々増加  
年齢層が上がると労働災害も増加

腰痛災害が年々増加  
各年では2つの災害で全産業の34～38%

## 働く人の腰痛・転倒をみんなで予防しよう！

～作業行動に起因する労働災害の防止に向けて～

**日 時： 令和6年9月24日（火） 14時～16時**

**会 場： L i - k a l 9 2 0 5階 貸会議室 R o o m A（鹿児島市中央町19-40）**

※本セミナー参加者を対象にした無料駐車場はございません。

**内 容： 第1部 「労働者の作業行動に起因する労働災害の現状等」**

講師：厚生労働省 鹿児島労働局 健康安全課

**第2部 「原因に応じた対処法 ～実践に向けて～」**

講師：鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健相談員

**第3部 「事業場外資源の活用と利用のご案内」**

講師：鹿児島産業保健総合支援センター 副所長

**対 象 者： 事業主、安全衛生担当者**

**定 員： 78名（先着）**

**申込方法： 申込フォーム、2次元コード**

**申込期限： 令和6年9月17日（火）**

参加  
無料



<https://ssl.formman.com/t/iMaT/>

SAFE

主催

厚生労働省 鹿児島労働局(健康安全課 ☎099-223-8279)  
鹿児島県小売業SAFE協議会・鹿児島県介護施設SAFE協議会  
独立行政法人 労働者健康安全機構  
鹿児島産業保健総合支援センター(☎099-252-8002)